

性器クラミジア感染症発生状況（2020年）【さいたま市感染症発生動向調査】

2020年の定点当たり累積報告数は23.30であり、前年(26.44)からやや減少し、埼玉県(27.52)及び全国(28.93)に比べ、少なかった。また、2018年及び2019年においても、同様の傾向がみられた(表1及び図1)。性別では、男性に多い傾向がみられた(約63%、図2)。年齢階級別では、男性女性ともに20～24歳で最も多くの報告があり、20歳代から30歳代が男性で約71%、女性で約86%を占めていた(図3)。近年、市中における若年者でのクラミジア感染症の増加が示唆されており、注意が必要である。

表1 性器クラミジア感染症定点当たり累積報告数

	2018年	2019年	2020年
さいたま市	23.10	26.44	23.30
埼玉県	26.88	27.74	27.52
全国	25.88	27.69	28.93

